

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成20年度）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【全国観光統計基準の採用】

愛・地球博開催を契機に平成17年度より、従来の調査観光地点に、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな53の観光地点を加え、平成20年度については、82地点の観光入込客数を把握しました。

【観光入込客延べ人数】

観光地点（82地点）の平成20年度観光入込客延べ人数は5,248万人であり、平成19年度と比較して369万人減少しました。

主な減少理由は、平成19年度に入場者が増加した反動や、平成20年5月に「イタリア村」が閉村し、それが近隣の観光地点にも影響を与えたことなどである。

■ 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(26) 19,577,602	(25) 19,246,422	(25) 21,075,363	(25) 20,510,622
	産業観光	(6) 1,821,014	(7) 2,003,055	(6) 1,917,028	(5) 1,615,170
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(17) 14,834,016	(17) 12,955,647	(17) 12,300,363	(18) 11,231,946
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(12) 7,477,495	(14) 7,428,814	(14) 7,880,964	(15) 7,772,812
	イベント	(24) 14,967,916	(22) 11,538,634	(22) 12,996,629	(19) 11,345,439
計		(85) 58,678,043	(85) 53,172,572	(84) 56,170,347	(82) 52,475,989

◆ 調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

【観光入込客 実人数の推計】

観光客調査により平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を算出した。平成 20 年度の観光入込客実人数は 3,200 万人であり、昨年度に比べ 104 万人減少しました。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計し、宿泊客調査と観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計しました。

■ 観光入込客実人数の推移

	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
観光入込客延べ人数（人）	58,678,043	53,172,572	56,170,347	52,475,989
平均訪問観光地点数	1.67	1.73	1.70	1.64
観光入込客実人数（万人）	3,514 万人	3,074 万人	3,304 万人	3,200 万人
宿泊客実人数（万人）	447 万人	475 万人	485 万人	472 万人
日帰り客実人数（万人）	3,067 万人	2,599 万人	2,819 万人	2,728 万人

■ 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数の推計

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市	名古屋市外	名古屋市	名古屋市外
観光入込客	3,200 万人	35.7%	64.3%	1,142 万人	2,058 万人
宿泊客	472 万人	7.6%	92.4%	36 万人	436 万人
日帰り客	2,728 万人			1,106 万人	1,622 万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計しました。平成 20 年度の名古屋市内の観光総消費額は、2,511 億円であり、昨年度に比べ 105 億円減少しました。

■ 宿泊・日帰り別観光総消費額の推移

		平成 19 年度	平成 20 年度
宿泊客一人あたり消費額		22,188 円	20,559 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内	3,645 円	4,012 円
	名古屋市外	6,854 円	6,761 円
宿泊客総消費額		1,070 億円	970 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内	439 億円	444 億円
	名古屋市外	1,107 億円	1,097 億円
観光総消費額		2,616 億円	2,511 億円

■ 主な旅行費用項目別消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		合 計	平成 19 年度
		名古屋市内	名古屋市外		
食事費消費額	344 億円	144 億円	303 億円	791 億円	854 億円
交通費消費額	98 億円	49 億円	185 億円	332 億円	374 億円
土産費消費額	219 億円	49 億円	218 億円	486 億円	531 億円
宿泊費消費額	487 億円			487 億円	550 億円

(2) 観光客・宿泊客の実態

①観光地点入込客

名古屋城はじめ4観光施設において、秋・春それぞれ平日・土曜・日曜の計6回、及び名古屋まつりやイベント開催時に、調査員が対面聞き取りにより調査しました（合計3,753サンプル）。

■調査観光地点とサンプル数

観光地点名称	秋期調査			春期調査			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	105	107	104	102	102	103	623
熱田神宮	104	105	105	102	105	108	629
ノリタケの森	106	103	104	105	106	104	628
シートレインランド	105	105	104	70	126	116	626
名古屋まつり	611						611
イベント会場	(マンモスフリーマーケット) 328						636
(ポートメッセなごや)	(ナゴヤオートトレンド 2009) 308						
合 計							3,753

【観光地点別入込客の特性】

「名古屋城」において「東海地域以外」からの入込客の割合が多くなっています。一方、「名古屋まつり」や「熱田神宮」においては「名古屋市内」の割合が多くなっています。また、「名古屋城」や「熱田神宮」において高齢層の割合が多く、「シートレインランド」や「イベント会場」においては若年層の割合が多くなっています。

【観光入込客の遊覧状況】

主要観光施設への立ち寄り状況は、下記のようになっており、調査場所の近隣の観光施設に立ち寄っている割合が多いです。

■ 主な観光施設入込客の遊覧状況

(単位：%)

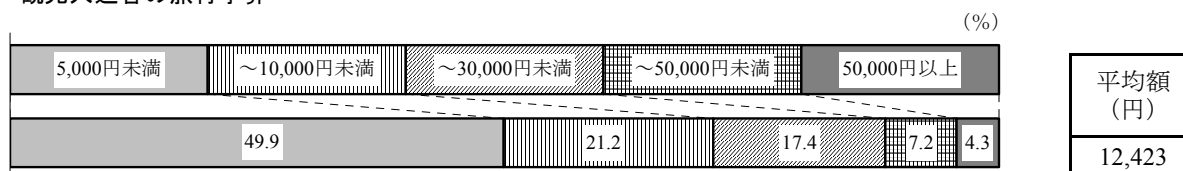
訪問施設 観光地点	名古屋城	熱田神宮	ノリタケの森	シートレインランド	名古屋港水族館	テレビ塔	徳川園	徳川美術館	名古屋港	産業技術記念館	ランの館	東山動植物園	その他	平均訪問施設数
名古屋城		14.0	6.3	0.3	4.5	12.5	8.3	9.5	2.2	4.2	1.4	2.7	12.4	1.78
熱田神宮	7.6		1.0	0.0	1.1	2.5	1.4	1.6	1.0	0.3	0.2	0.5	11.8	1.29
ノリタケの森	20.7	5.3		0.0	0.8	6.5	9.9	7.6	0.8	7.3	0.6	2.2	23.2	1.85
シートレインランド*	2.9	1.6	0.6		81.6	1.6	0.2	0.2	9.7	0.3	0.8	1.9	6.5	2.08
名古屋まつり	26.2	2.1	0.8	0.2	1.5	6.7	2.9	2.1	0.3	0.2	7.5	2.5	19.6	1.73
イベント会場	0.5	0.2	0.2	0.0	2.7	0.5	0.0	0.0	0.5	0.3	0.0	0.2	4.4	1.09

(複数回答)

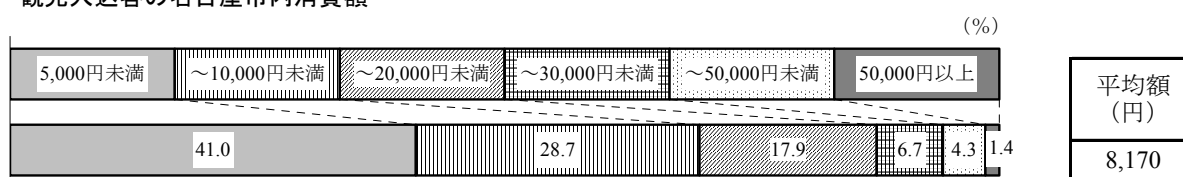
【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、旅行予算は 12,423 円、名古屋市内での消費額は 8,170 円、市内交通費 1,039 円、土産代 1,580 円、食事代 2,584 円である。また、宿泊者の 1 泊の宿泊代は 10,316 円となっています。

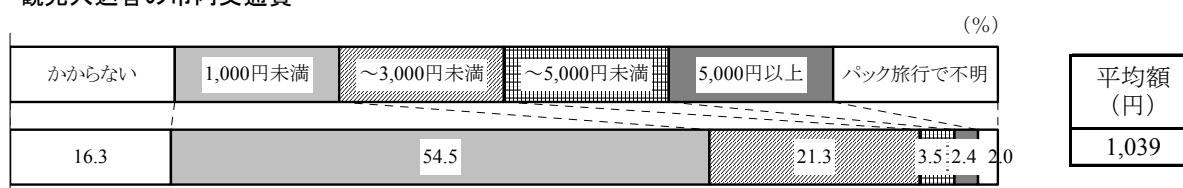
■ 観光入込客の旅行予算



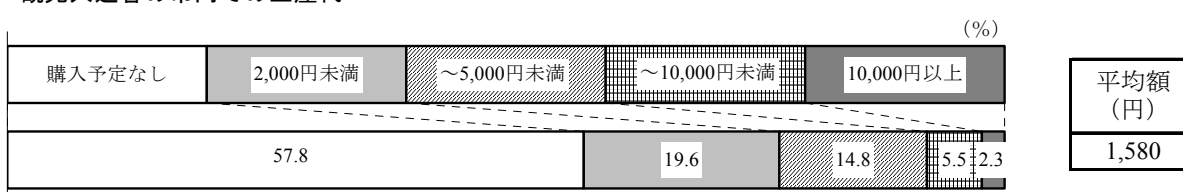
■ 観光入込客の名古屋市内消費額



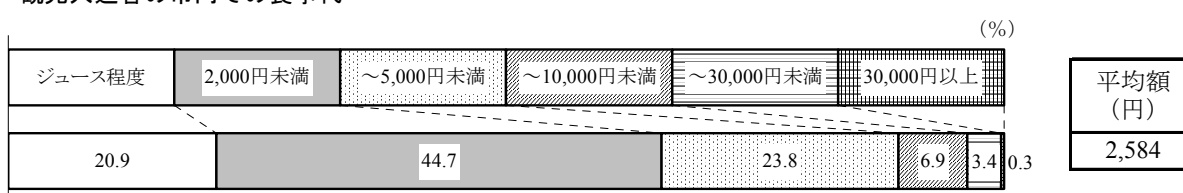
■ 観光入込客の市内交通費



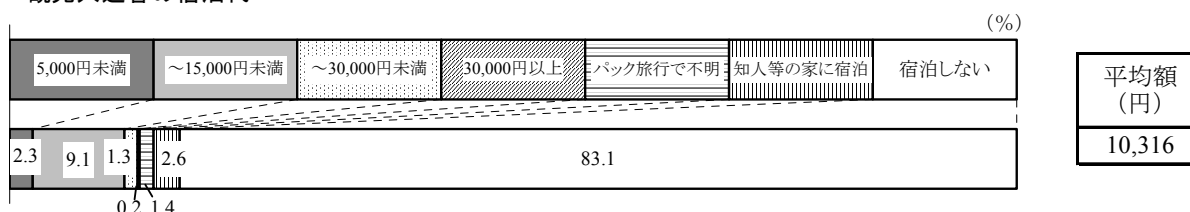
■ 観光入込客の市内での土産代



■ 観光入込客の市内での食事代



■ 観光入込客の宿泊代



③宿泊客

市内の20の宿泊施設の協力を得て、秋・春の計2回（各調査期間1か月間）、宿泊客に対し、アンケート調査を実施しました（秋期：469、春期：400、合計869サンプル）。

【宿泊客の属性】

「名古屋市内」と「愛知県（名古屋市を除く）」、「岐阜県・三重県・静岡県」を合わせた「東海地域」の割合は33.8%となっています。

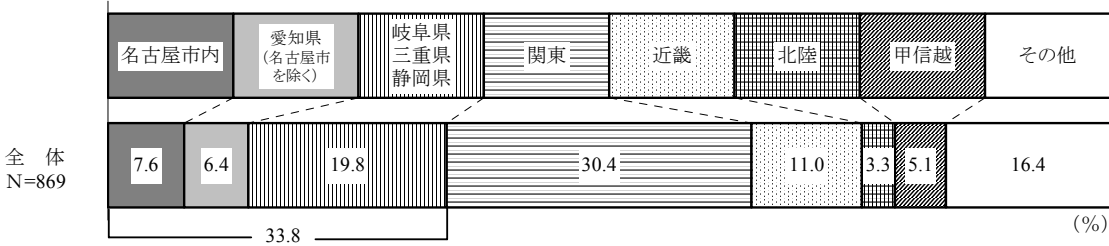
【旅行・訪問の目的】

「観光施設の見学」（16.3%）、「ショッピング」（8.3%）、「観劇・コンサート」（8.1%）、「飲食」（7.0%）などを合わせた「観光・娯楽」が47.1%、「商用・公用」が22.2%、「帰省・冠婚葬祭」が10.7%、「大会・会議」が8.3%となっています。

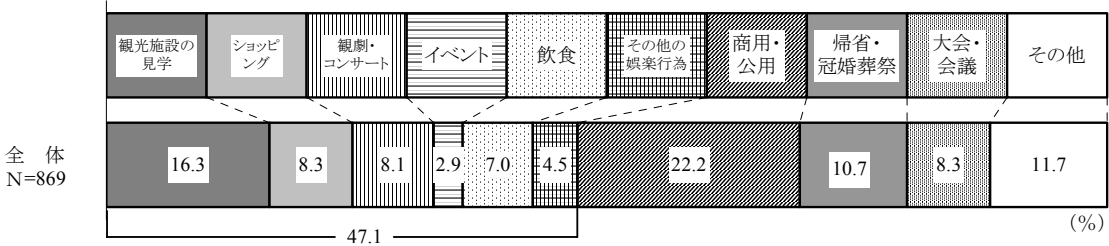
【宿泊客の訪問観光施設】

全宿泊客のうち観光施設等を訪問すると回答した人は595人（68.5%）でした。訪問する割合が高い観光施設は、「名古屋城」（27.5%）が最も高く、次いで「熱田神宮」、「テレビ塔」、「名古屋港水族館」、「徳川美術館」となっています。

■居住地別、宿泊客数割合



■目的別、宿泊客数割合



■宿泊客の主な訪問観光施設

(単位：%)

訪問施設 地域	名古屋城	熱田神宮	テレビ塔	名古屋港水族館	徳川美術館	ノリタケの森	徳川園	名古屋港	東山動植物園	産業技術記念館	愛知県美術館	その他	訪問施設なし	平均訪問施設数
東海	19.3	10.5	11.5	11.8	4.9	5.6	4.6	7.2	4.9	2.3	1.3	36.4	31.5	1.20
東海以外	32.1	12.1	9.1	8.4	9.4	7.1	7.7	4.5	5.5	5.3	2.1	28.3	31.6	1.32
全体	27.5	11.5	10.0	9.6	7.8	6.6	6.6	5.5	5.4	4.3	1.8	31.1	31.5	1.28

(複数回答)

(3) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊者数などを把握しました。市内の総宿泊客数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出しました。

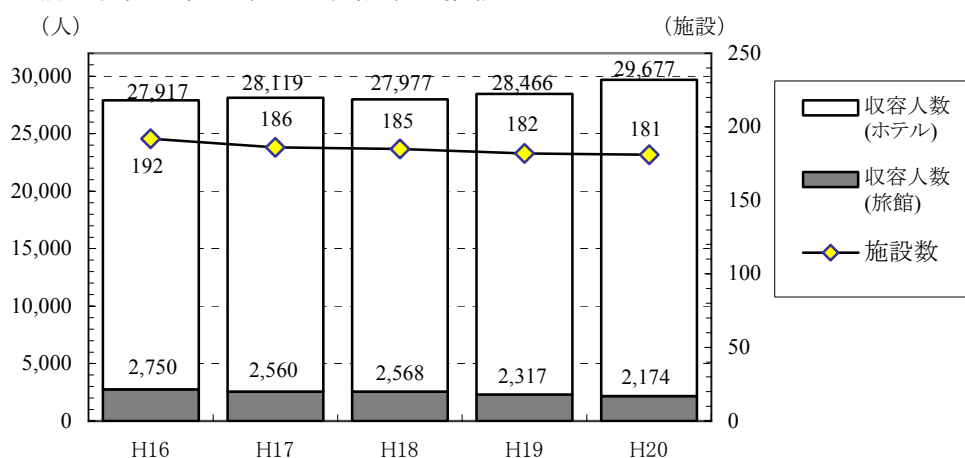
【宿泊施設数】

ホテル 131 施設、旅館 50 施設、合計 181 施設であり、昨年度に比べ 1 施設減少しました。一方、室数の合計は 21,495 室、収容人数の合計は 29,677 人であり、昨年度より部屋数は 805 室、収容人数は 1,211 人増加しました。

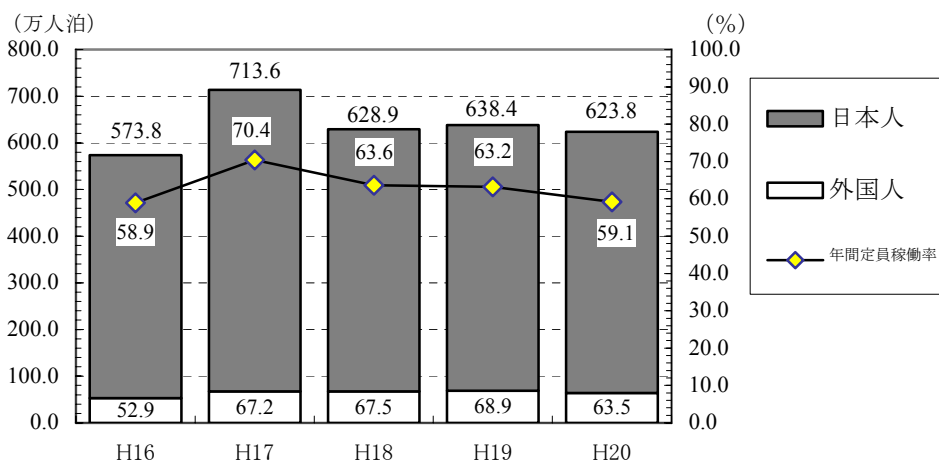
【年間宿泊者数】

年間宿泊者数は延べ数で約 624 万人泊、実人数で約 472 万人と推計されます。昨年度に比べ、延べ宿泊者数、実人数とも減少しています。また、外国人宿泊者数は、延べ 63 万人泊、実人数で約 38 万人と推計され、昨年度に比べ、実人数はほぼ横ばいで、延べ人数は減少しています。

■ 市内宿泊施設収容人数及び施設数の推移



■ 施設延べ宿泊者数の推移



■ 推計年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移

年 度		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
区 分	推計総実人数 (人)	4,651,625	4,472,967	4,752,837	4,845,349	4,719,502
	うち外国人	333,857	272,539	286,704	378,730	377,532
推計総延べ宿泊者数 (人泊)	推計総延べ宿泊者数 (人泊)	5,738,330	7,135,833	6,288,947	6,384,202	6,238,020
	うち外国人	528,769	671,905	675,238	688,805	634,900
年間定員稼働率 (%)		58.9	70.4	63.6	63.2	59.1

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。

年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数

【国別外国人宿泊者数】

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた 84 施設のうち、外国人が宿泊した施設は 74 施設であり、その宿泊者数の合計は 293,647 人であった。国別には台湾が 25.7% (75,673 人) と最も多くなっています。登録ホテルでは、台湾のほか、「米国」「韓国」「中国」「タイ」などからも多くの宿泊客があります。昨年度と比較すると「米国」からの宿泊客が大幅に減少しています。

■ 国別外国人宿泊者数

	登録ホテル (人)	ホ テ ル (人)	旅 館 (人)	全 体		平成19年度 割合 (%)
				人数 (人)	割合 (%)	
回答数 (施設)	19	47	18	84		
中国	30,275	23,789	178	54,242	18.5	15.4
香港	20,662	3,367	35	24,064	8.2	3.2
台湾	47,259	28,311	103	75,673	25.7	30.4
韓国	32,069	9,620	308	41,997	14.3	16.3
米国	36,551	4,126	211	40,888	13.9	23.3
タイ	29,390	2,928	23	32,341	11.0	0.9
ドイツ	5,142	557	122	5,821	2.0	2.3
シンガポール	4,384	731	12	5,127	1.7	0.7
英国	2,940	730	85	3,755	1.3	1.4
フランス	2,554	733	193	3,480	1.2	1.2
オーストラリア	2,569	542	266	3,377	1.2	3.4
カナダ	1,425	342	75	1,842	0.6	1.1
その他	35	855	150	1,040	0.4	0.4
合 計	215,255	76,631	1,761	293,647	100.0	100.0

【修学旅行について】

修学旅行を受け入れた宿泊施設は 12 施設で、学校数は 60 校、宿泊者数は 4,432 人であり、昨年度に比べ学校数は 1 校増加しているが、宿泊者数は減少している。

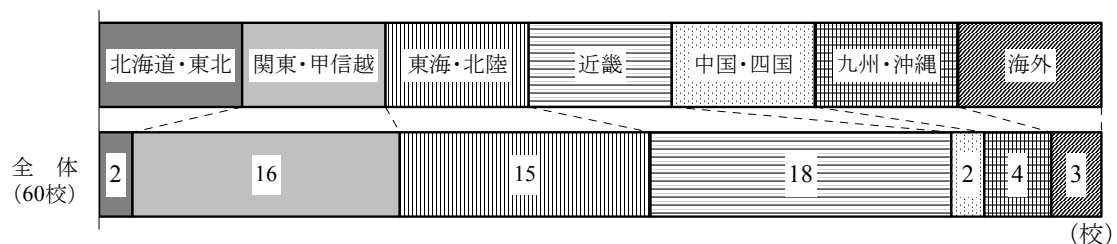
学校分類では「小学校」が 21 校、「中学校」が 12 校、高校が 8 校、「その他」が 19 校となっています。

地域別の学校数は、「近畿」が 18 校、「関東・甲信越」が 16 校、「東海・北陸」が 15 校と多くなっています。学校分類では、近畿は「小学校」(16 校)、関東・甲信越は「その他」(10 校)が多いです。

■ 修学旅行団体の受入実績の推移

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
学校数 (校)	48	135	73	59	60
宿泊者数 (人)	4,868	11,856	5,969	5,165	4,432

■ 地域別修学旅行団体受入状況



(4) 主要観光施設の入込客数

■主要観光施設別入込客数の推移

(単位：人)

施設 \ 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
名古屋城	994,994	1,984,187	1,096,137	1,196,500	1,246,279
東山動植物園	1,735,184	1,650,336	2,020,314	2,319,341	2,201,822
東山スカイタワー	231,048	224,951	259,886	289,767	298,801
テレビ塔	181,497	194,463	323,818	293,251	285,681
熱田神宮	6,465,460	6,547,860	6,235,956	6,512,112	6,417,500
名古屋港	203,434	202,177	195,639	643,632	586,788
名鉄海上観光船	36,939	34,133	25,117	-	-
名古屋空港	433,411	-	-	-	-
名古屋市科学館	615,425	486,104	614,577	618,956	607,864
徳川美術館	241,912	420,582	251,863	219,494	239,506
名古屋市博物館	448,195	568,581	363,271	538,476	448,153
東谷山フルーツパーク	511,899	459,031	547,717	568,804	570,675
農業文化園・戸田川緑地	658,225	642,757	712,288	691,262	938,998
でんきの科学館	492,856	333,893	348,158	353,727	360,082
名古屋市美術館	196,020	196,062	347,052	374,303	474,264
名古屋港水族館	1,759,536	1,663,186	1,927,274	2,116,681	1,907,127
産業技術記念館	150,921	303,312	230,618	263,854	270,121
白鳥庭園	79,848	76,196	82,966	91,713	93,289
市政資料館	59,274	67,749	59,240	60,143	73,362
名古屋能楽堂	127,470	135,297	163,455	186,408	194,109
愛知県美術館	629,283	1,222,438	761,088	803,967	682,896
名古屋市農業センター	713,839	669,831	622,769	612,259	630,033
シートレインランド	728,142	600,388	707,572	731,388	690,717
有松・鳴海絞会館	191,996	189,908	185,820	179,689	213,812
ランの館	133,473	117,999	128,193	131,262	144,427
名古屋ボストン美術館	242,916	209,599	237,245	175,661	238,153
パノラマハウス	391,754	309,246	-	-	-
ノリタケの森	421,515	533,830	410,558	413,566	398,606
ブルーボネット	117,892	95,941	93,831	77,968	74,364
徳川園	221,601	399,865	254,727	249,227	256,921
文化のみち二葉館	20,565	56,550	35,436	35,792	33,716
イタリア村	-	4,352,600	1,690,100	1,272,200	66,500
ロボットミュージアム	-	-	422,173	333,508	-
スカイプロムナード	-	-	160,000	630,000	240,000
万博ささしまサテライト事業	-	3,519,700	-	-	-
合 計	19,436,524	28,468,752	21,514,858	22,984,911	20,884,566

* 1：徳川園は平成 16 年 11 月、文化のみち二葉館は平成 17 年 2 月、イタリア村は平成 17 年 4 月、ロボットミュージアムは平成 18 年 10 月、スカイプロムナードは平成 19 年 3 月にそれぞれ開館した。

* 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。名古屋空港の展望デッキは平成 17 年 2 月、パノラマハウスは平成 17 年 10 月、名鉄海上観光船は平成 18 年 11 月、ロボットミュージアムは平成 19 年 9 月、イタリア村は平成 20 年 5 月にそれぞれ閉館した。



注1：本文中で用いたテレビ塔、パノラマハウス、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、JR セントラルタワーズパノラマハウス、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別のなどの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

本書（概要版）および本編については、名古屋市ホームページ（www.city.nagoya.jp）に掲載しております。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

- 概要版 -

（平成20年度）

平成21年10月発行

発 行 名 古 屋 市 市 民 経 済 局
業務委託先 株 式 会 社 綜 研 名 古 屋
電 話 （052）733-3302